

ふれあい新聞

(第28号) 平成5年10月1日 (田中野田町内会)



夏祭りの御礼

夏祭り実行委員会 委員長 横野 良典

第10回田中野田夏祭りにあたり、今回初めて町内の皆様の善意をお寄せいただき、又各関係者の方々の温かい御援助、御協力をいただき大変ありがとうございました。おかげさまをもちまして盛大な夏祭りを行う事が出来ました事を心より感謝申し上げます。

私のように第1回から携わっている者にとって、長いようで短い10年間であったと思います。最初は前町内会長、中尾さんをはじめ、町内の熱意は大変なものを感じました。林さんを中心に舞台の作成、中原さんを中心に電気の配線、和氣 茂さんを中心にカラオケ音響の手配、植田さんを中心に出し物の企画の話し合い等、思い出せば夜遅くまでよく協議をしたものです。町内会を中心に、子供会 育成会、同OB会、老人会、婦人会、ソフトボール愛好会の間で協議をする事によってコミュニケーションをはかり、そうすることによって和が広がる・・・。

ある日、火災という災難にも会いました。夏祭りを1週間後に控え、町内の皆さんが一丸となって舞台を再び作成し、1日でやり遂げた時の思い出は忘れる事が出来ません。

私も町内に引っ越して来て15年目。私にとっては夏祭りと共に歩んで来た、といつてもよいでしょう。町内のお世話をする事によって、大勢の皆様と知り合い、友達が多く出来ましたことを感謝しております。

こうした町内の行事、運動会、夏祭り、秋祭り、町内各行事を通じ、親睦をはかり、人と人の和を広げ、明るい町、きれいな町、楽しい町にしていこうではありませんか。

このたびの夏祭りの御協力、大変ありがとうございました。

町内会だより

<その1> 臨時総会を終えて

去る8月22日福祉センターにおいて、田中野田町内会の臨時総会を開き、御南小学校の通学区域について町内としての態度を決めるご相談を申しあげましたところ、ご多忙の中、多数のご出席を頂きまして誠に有難うございました。協議の結果はすでにご承知のように、田中野田は揃って新設校の方向で決着をみる事ができました。本町内のほぼ中央部を通る都計道路(50メートル道路)が、いつ、どのような形で完成するのか分からない時点でのごことであり、今後に残された課題も多いことと思います。町内会としても田中野田の将来を左右する問題でもありますので、皆様のご理解とご協力のもとに最善の努力をしてみたいと考えております。臨時総会での町内としての態度の決定は、手続きの上では最終決定ではなく、町内の決定をふまえて岡山市教育委員会が決めることになることは、すでにご連絡申し上げた通りであります。

田中野田町内会の規約によりますと、総会の成立は会員の過半数の出席を要することになっておりますが、過去長年にわたって過半数に満たないまま、慣れ合い的に済まされていたことも多かったように思います。

この度の臨時総会は関係者の努力によりまして、委任者を含めて73パーセントの出席を頂くことができました。こうした意味でも皆様のご協力に対して心から感謝致しております。皆様方の意思一つで立派に実行できることが実証されましたので、これを機に来年度からの町内会の定期総会は当然のことではあります。規約通り行わせて頂きたいと存じます。町内の方々に迷惑をかけないためにも、総会当日出席できない方は、必ず委任状を出す習慣を身につけて頂きたいと思っております。

<その2> ごみ問題を考えよう

岡山市では、増大するごみ問題に対応しきれず、1991年11月より非常事態宣言がなされたまま今日を迎えております。この問題に対する市の対処のあり方にも疑問がないとは言えませんが、ただ行政面だけにその責任を負わせることはできないと思っております。リサイクルの手で

もなく、ごみの源になる製品を大量生産して売さばいでいる企業にも重大な責任があると思います。又その宣伝にのり、使い捨ての心を増長してきた我々消費者にも大きな責任の一端が感ぜられます。それぞれの人には、その人なりに果たさなければならない責任があるにもかかわらず、その責任が自覚されていないところに大きな原因があるように思います。今日ほどごみの減量化、リサイクル化の必要性が痛感され、協力してこの問題に対処していく態度が要請されている時はないと言えましょう。これ以上このまま放置しておく、だれもが予測し得ない所で、取り返しのつかない事態に発展する恐れが多分にあるように感ぜられます。

現在岡山市では、燃えるごみ、燃えないごみ、粗大ごみの三種類に分別して処理していることはご承知の通りであります。昨年度よりごみ問題の解消を目指して5種分別に踏み切り、一部試行的に実施しております。近い将来全市的に行う予定であると聞いております。私共市民はもっともっと限りある資源を大切にしていき、再利用できるものは積極的に利用していくことを、身近な所から実践していかなければなりません。

日ごろから田中野田の皆様方には、ごみ処理につきましては、いろいろとお世話になり大変感謝致しております。最近町内会では、ごみステーションを関係者のご協力により、幾つか新設させて頂いております。

これからも予算の許す限り早めに整備、充実してまいりたいと思っております。田中野田におきましても、他町内に遅れをとることなく、望ましいごみ処理に一層心掛けていきたいと考えております。どうか今までも増して自分の足元を見直され、次の2つの基本的な事項につきまして、惜しみないご協力を頂きたいと思っております。

1. ごみはできるだけ家庭で処理するように心掛け、ごみステーションに出すごみは、最小限にとどめるように努めること。
2. 燃えるごみ、燃えないごみ、粗大ごみに正しく分別し、決められた日や時間を守って、きちんと出す習慣を身につけること。

燃えるごみを出す日に、燃えないごみを出したり、粗大ごみでない日に粗大ごみを出したりすると、人に思わぬ迷惑をかけていることに想いをはせて頂ければ幸いです。

<文責 町内会長 和氣 加太志>